

小専社会第 5 回「重ねるハザードマップでみる身近な地域の自然災害」の作業内容と手順

- 作業内容：PC で重ねるハザードマップを利用して，附属小学校とその周辺の避難所を対象にして，災害時の危険を調べる．
- 手順：
 - ①PC でブラウザ（Microsoft Edge や Safari などのインターネットを閲覧するソフトウェア）を起動する，
 - ②登録したブックマークから「小学校専門科目社会地理分野のページ」を開く．ブックマークに登録していない人は，Google 等の検索サイトで「山田地理研究室」を検索して，開いた「山田地理研究室」から「小学校専門科目社会地理分野のページ」を開く．
 - ③開いた「小学校専門科目社会地理分野のページ」の第 5 回の，記入用紙とある赤茶ボタンをクリックする．
 - ④そうすると，自動でダウンロードが始まるか，操作の選択（「開く」，「保存」等）を問う画面が，画面下部に表示されるので，都合の良いフォルダ（「ドキュメント」など）を選んで保存する．
 - ⑤保存したフォルダ（自動で保存された場合は，「ダウンロード」フォルダ等，各自の PC の設定によって異なる）を開いて，ダウンロードしたファイル「SHE05b_Worksheet_2020b」をダブルクリックする．
 - ⑥そうすると，Microsoft Word が起動して，記入用紙が表示される．画面上部に「編集を有効にする」というボタンが表示された場合は，そのボタンをクリックする．以上で，作業の成果を記入する準備ができたので，⑦以降の手順で，重ねるハザードマップを用いて作業を行う．
 - ⑦再び，「小学校専門科目社会地理分野のページ」に戻って，第 5 回の，重ねるハザードマップとある青ボタンをクリックする．
 - ⑧そうすると，重ねるハザードマップという Web サイトが別ウインドウで開き，大阪市とその周辺の地図が表示される．そして，重ねるハザードマップで，次ページの説明を参考にして，洪水時の浸水範囲，津波による浸水範囲，土砂災害危険箇所を表示して，附属天王寺小学校，附属平野小学校，附属池田小学校のそれぞれが，浸水，土砂災害の危険があるか否かを確認して，洪水，津波については，浸水の有無と有の場合は浸水深を記入用紙に記入する．土砂災害については，危険の有無と有の場合は土砂災害の種類を記入用紙に記入する．また，附属小学校周辺の避難所を，それぞれ学校から近い 3 か所を選んで，浸水，土砂災害の危険があるか否かを確認して，学校の場合と同様に記入用紙に記入する．その作業結果を基に，附属天王寺小学校，附属平野小学校，附属池田小学校のそれぞれについて，大雨で洪水・土砂災害の危険が高まり，避難指示が出された場合どうするか？また，南海トラフを震源とする地震が発生して，大津波警報が発令された場合どうするか？を考えて，記入用紙に記述する．

重ねるハザードマップの操作法

○浸水範囲，危険区域の表示法

画面左上部の洪水アイコンをクリックすると、洪水時の浸水範囲と浸水深が表示される。その下に薄い青緑で表示された「洪水浸水想定区域（想定最大規模）」の右にある「解説凡例」とある青いボタンをクリックすると、凡例が表示されて、なに色の浸水深がどのくらいかを確認でき

る。同様に、画面左上部の土砂災害アイコンをクリックすると、土砂災害危険箇所が表示され、その下に「急傾斜地の崩壊」や「土石流」といった土砂災害の種類別に解説凡例が表示される。また、津波も同様に、画面左上部の津波アイ

コンをクリックすると、津波による浸水範囲と浸水深が表示され、その下に「津波」の解説凡例が表示される。



○附属小学校の探し方

附属天王寺小学校，附属平野小学校，附属池田小学校の位置が分からない場合は、画面上部にある検索窓を利用する。画面上部の「重ねる HM」の右の空白に「附属天王寺小学校」と入力して、検索ボタンをクリックすると、附属天王寺小学校の位置に、旗のアイコンが表示される。



○避難所の表示法

避難所の表示は、かなり拡大表示してから行わないと、表示に著しく時間がかかるので、大阪市全域くらいの範囲を表示している場合は、さらに拡大して、附属小学校の周辺まで拡大しておくこと。まず、画面左上部の洪水等のアイコンの下にある「すべての情報から選択」をクリックして表示される「指定緊急避難場所」をクリックして表示される「洪水」をクリックすると、洪水に対応した避難所が地図に表示される。同様にして、土砂災害に対応した避難所は、「崖崩れ，土石流及び地滑り」をクリックすると表示され、津波に対応した避難所は、「津波」をクリックすると表示される。

